



町内外の顧客獲得を見据えた 地域貢献型アパレルショップを創業

課題

Uターンで地元 セレクトショップを開店

15年間にわたって東京で衣料品や衣料雑貨などを扱うインターネットショップを運営してきた泉田洋さん。2017年に出身地である住田町に戻り、念願だった衣料品のセレクトショップの開店準備に着手した。

住田町は、豊かな緑に囲まれた人口約5500人の町。かつては岩手の内陸と三陸沿岸を結ぶ宿場町として栄えたが、近年は人口流出が問題になっている。一方で、気仙川でのフィッシングや、奥州市、遠野市、住田町にまたがる物見山のトレッキングなど、豊かな自然を楽しみたいというアウトドア愛好者の来町は増えている。

将来はスポーツフィッシング事業を展開したいというビジョンをもつ泉田さんは、セレクトショップの開店をその構想の足がかりとして位置づけている。アパレルに精通した企業での勤務経験や、古着バイヤーとしての経験もあり、リスクを最小限に抑えた仕入れ、顧客目線に立った商品陳列やレイアウト、マーケティングリサーチやトレンド情報の収集や分析など豊富な経験とノウハウをもつが、実店舗の運営は初めてであったため、住田町商工会に創業支援の相談をもちかけた。

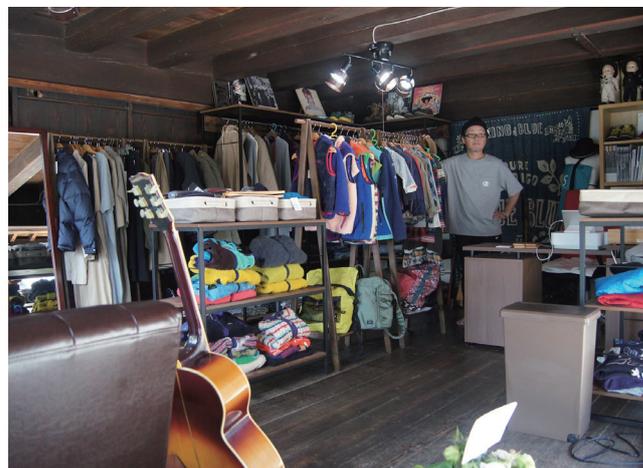
支援

今後の事業展開に向け 足がかりを固める

店舗開店に向けての第一歩は、2018年3月に住田町が主催した創業者向けのセミナーへの参加だった。これを機に、商工会の本格的な支援がスタート。同年10月の創業相談において、事業計画の必要性やメリットについてレクチャーし、理解を得て創業計画の策定に取りかかり、12月に店舗設置の具体的な検討へと入っていった。創業資金としては、住田町起業奨励金を申請し、採択を受けて資金繰りの安定化の目途が立った。

引き続き店舗オープンに向けてより具体的な事業計画の策定に入っていった。

①町内には衣料品専門店がないこと、②町外からアウトドアレクリエーション目的の来訪者が多いこと、③アウトドア、スポーツウエアをメインにした取扱品の競合店が近隣市町村に少ないこと、④アウトドア、スポーツウエア市場規模が拡



オープンしたセレクトショップの店内

大していること、などを踏まえて、事業計画の見直しを行い、2019年7月に小規模事業者持続化補助金を申請。同年9月に、アウトドア、スポーツウエアと、代表が得意とするセレクト古着を販売するセレクトショップを開業した。

代表の泉田さんは、このショップを、将来、スポーツフィッシング事業を展開するための経営基盤として位置付けている。「釣り具のレンタルや、初心者に釣りを教えるフィッシングガイドなどの事業を実現し、観光で地域に貢献できる店舗を目指したい」と意気込みを見せている。その夢に向けた取り組みを、商工会は伴走支援していく。

支援の経過

期間	支援内容
2018年10月	創業計画の策定支援
12月	店舗設置の検討支援
2019年1月	住田町起業奨励金の申請支援
5月	店舗オープンに向けた事業計画の策定支援
7月	持続化補助金の申請・実行支援

会社概要

会社名：fukura
 住所：岩手県気仙郡住田町世田米字世田米駅78
 電話番号：0192-46-3008
 URL：https://fukura2019.thebase.in/
 代表者名：泉田洋
 創業年：2019年
 従業員数：0名
 商工会名・担当者名：住田町商工会・今野雄介